The METRO REPORT
NEW YORK・INDIA・KENYA・PHILIPPINES・ROMANIA・SOUTH AFRICA・PERU
メトロ・ワールド・チャイルド
ニュースレター
2018 年 5 月号
メトロ･ワールド･チャイルド・ジャパン　東京都中央区銀座 4-5-1 教文館 6F TFC 内

# メトロ･ワールド･チャイルド サマーキャンプ 2018

詳細は同封のお申込用紙をご覧ください。〆切は５月２９日です。

特定の子どもの支援以外にも、金額自由でキャンプ支援献金を受け付けます。＊ケニアのキャンプは、７～８月にご案内予定。

## フィリピン

マニラで援助している子どもたち21,000 人の多くは､極貧状態にあり、ごみ漁りで食料を得､教育も受けられずに成長します。この子たちこそ、歌やゲーム､野外活動や祈りなどが盛りだくさんの､楽しく温かい環境を体験すべきです｡あなたのご支援をいただければ、この夏、メトロの１日キャンプでの楽しい時間や暗い日常からの解放という世界をこの子どもたちに教えてあげることができます。

## アメリカ

スラム街の子どもたちの多くは､その地域から出たことがなく､神様を知らないままギャングの一員や麻薬の売人になってしまいます｡ご支援いただければ､子どもたちはニューヨークから車で数時間の自然豊かな郊外での３泊４日のキャンプに参加できます。混沌とした日常を離れて新鮮な空気を吸い、裸足で草原を歩き回り、ボートや魚釣りや泳ぎを楽しみ､満天の星を眺めることもできます。

## アメリカ

キャンプ費用は、25,000 円ですが、３泊４日分の交通費、宿泊費、食費、礼拝用資料、工作用品、その他が含まれますので、相応の金額だと思います｡皆様には､それなりのご負担かと思いますが､できる範囲で結構ですので､ご支援をお願いいたします｡犯罪の横行する地域で､親や周りの大人の顔色を見ながら、気の休まらない毎日を送る子どもに、子どもらしい体験をさせていただければ感謝です。

## フィリピン

参加費はひとり 11,000 円。早朝からの１日キャンプで、交通費、食費、入園料、礼拝用資料、工作用品､その他が含まれます｡いつもお腹を空かせている子どもたちにとって、お腹いっぱい食べられる、夢のような１日です。今年のテーマは、宇宙｡子どもたちは、入場の時からＩＤカードを持って宇宙飛行士になった気分を味わえるという仕掛けです。信仰によって大きな夢を持てるようお祈り下さい。

## サマーキャンプ支援募集！

**〆切は５月２９日です！**

**お申し込み用紙をご確認いただき、５月２９日までにお申し込みください。**

**今回は、アメリカとフィリピンの支援です。**

## 今月号の目次

P2…子どもの感想／祈りの輪／サマーキャンプセットのご案内
P3～５…フィリピンツアーの感想
P６…日本事務所からの最新情報／連絡先など基本情報

## あなたもキャンプ支援を通して
## 子どもたちの人生に変化を起こすことができます！

サマーキャンプに参加させてくれてありがとう

こんにちは！ 私の名前は マーゴ です。 9 歳です。
キャンプは楽しいです。
一番楽しかったのは みずうみ、礼拝とう、ウォータースライダー
今の願いは らいねんもキャンプにくる
今日学んだのは、神様と話して神様をかんじること
あなたに伝えたいのは、キャンプにこさせてくれて、ほんとうに、ほんとうにありがとう
Thank You!

サマーキャンプに参加させてくれてありがとう

こんにちは！ 私の名前は ジェイレン です。 10 歳です。
キャンプは楽しいです。
一番楽しかったのは 旗取り合戦
今の願いは 来年もキャンプに来ること
今日学んだのは、イエス様はぼくの心の中にいること
あなたに伝えたいのは、キャンプで礼拝ができてすごくよかった
Thank You!

サマーキャンプに参加させてくれてありがとう

こんにちは！ 私の名前は ドネル です。 11 歳です。
キャンプは楽しいです。
一番楽しかったのは 礼拝堂での賛美です
今の願いは 来年もキャンプに来ること
今日学んだのは、神様と話して神様を感じること
あなたに伝えたいのは、ぼくは価値のない存在ではなく、不可のうはないということ
Thank You!

サマーキャンプに参加させてくれてありがとう

こんにちは！ 私の名前は エミリー です。 8 歳です。
キャンプは楽しいです。
一番楽しかったのは みずうみと しょくどう
今の願いは らいねんもキャンプにきてもっとイエスさまをしりたい
今日学んだのは、神さまはみんなのそばにいる
あなたに伝えたいのは、キャンプからかえりたくない
Thank You!

## 祈りの輪

メトロのパートナーであるみなさんは、祈りと支援を通じて活動の任務を担ってくださる貴重な存在です。どうか共にお祈りください。

- 日々の食べ物にも困っている子どもたちの幸せのために。
- 脳震とうの後遺症も心配される中、世界を飛び回るビル先生の健康が守られ、神様の力と恵みが豊かに注がれますように。
- 新学期に日曜学校にやってくる子どもたち（アメリカでも世界各国でも）ひとりひとりに伝道できるよう、必要な物資が与えられますように。
- さらに多くの子どもたちの救いのためにメトロが用いられるように。
- ７月の日本のセミナーに多くの方が参加されますように。
- 多くのスポンサーと献金者が与えられ必要が満たされますように。
- 日本からのインターンひとりひとりが、現地でしっかり学び、成長し、帰国後は、日本のリバイバルのために各教会で大きく用いられますように。

アーメン！感謝します。

「キャンプのことを考えるとワクワクします。 キャンプに行ったのは去年が初めてでした。 ボードゲームで遊んだのも初めてでした。 湖で泳いだりウォータースライダーで遊んだりもしました。 また今年も行きたいです。」

セドリック（11 歳）

## 何も持っていない子どもにキャンプ用品を

アメリカ — メトロの子どもたちのほとんどは、いままでキャンプに行ったことがありません。どんなものか知らないので、最低限必要なものも準備せずに、手ぶらで参加する子も大勢います。その状況に対処し、子どもがキャンプを楽しめるように、メトロではキャンプセットを準備して、必要な子に渡しています。歯磨きセットやシャンプーなどの洗面用具をはじめ、他にも滞在に必要な物がたくさん入ったキャンプ用品セットが3,000円で準備できます。キャンプがより素晴らしいものとなるように、ご支援を募集しています。何口でもご支援いただけます。

金額その他は、同封のお申込用紙をご確認ください

！

# フィリピン視察ツアーのご感想

４月５日～８日にかけて開催しましたメトロ･フィリピンの現地視察ツアーにご参加くださった方々のご感想です。

## 堀井汀様からのご感想

今回のフィリピン旅行は、去年日本で開催されたビル･ウィルソン先生のセミナーで知りました。私は高校生で将来子どものための働きをしたいと思っていたので、このようなフィリピンツアーがあると知り、ぜひ参加したいと思い、兄と一緒に参加させてもらいました。親と一緒じゃない海外旅行も初めてで少し緊張もしていましたが、とても楽しみでした。

フィリピンの第一印象は、日本と違いとても暑いということ。フィリピンに着き、大阪から来た皆さんともお会いし、総勢 10 人でメトロのオフィスに行き４日間のプログラムの最終確認をしました。私たちが泊まったホテルはきれいで、朝ご飯もおいしかったです。

２日目は、東京の教会からきた９名の方々とも合流し朝早くにメトロのオフィスへ行きました。そこから、それぞれグループに分かれ、私たちのグループはメトロのスタッフのハンナさんと一緒に行動しました。最初に行ったところはスモーキーマウンテンのあったスラム街。次の日に行われるサンデースクールのチラシ配りを手伝いました。その場所に着く前、子供たちが歓迎してくれるのか、日本から持ってきたお菓子をちゃんと配れるかなどの不安もありましたが、着いて車から降りたとたんに、子供たちがいっぱい集まってきてハイタッチをしてくれたので不安など飛んで行ってしまいました。そこで、チラシまたお菓子を、集まってくる子供たちに配りました。

そこは、自分が想像していたよりも悲惨な場所で狭い小屋で大勢の家族で暮らしている、そんな場所でした。それでも、フィリピンの子供たちはみんな明るくて、隣にきて私の腕にしがみついていたり、手をつないできてくれたりとほんとに人懐っこくてかわいかったです。

午後は墓地に行き、ハンナさんにどのような場所なのかを案内してもらいました。そこには骨が転がっていてとても人が住めるような場所ではないと思いましたが、そこにはたくさんの人たちが暮らしているのが現状でした。

そのあとは、初めて見るメトロ主催のサンデースクール。子どもたちが飽きないよう工夫されていて、みてる私も本当に楽しい時でした。

３日目は、３か所で行われるサンデースクールに参加しました。この日は、ご飯も最後に配られていて、その中の１つは昨日チラシ配りに行った場所でした。１回のサンデースクールに約 200～300 名もの子供たちが来ていました。そこでも、子供たちが抱きついてくれたり抱っこをせがまれたりと、たくさん子供たちと一緒に遊べて幸せな時間でした。

その夜は、おいしいフィリピン料理を食べに行き、ずっと食べたかった「ハロハロ」も食べられてみんなで楽しい最後の夕食のときを過ごせました。

最終日は日曜日だったので、大きくきれいな教会で礼拝に参加したあと、日本へ帰りました。

次ページへ続く

メトロ･フィリピンの働きに初期の頃から関わっている協力教会のひとつ。メトロが支援する子どもやその家族も通っている。

メトロのスタッフの方々はみんな、子供たちを愛し、また明るくて本当に良い人たちでした。また、行動を共にし、いろいろな話をしたりと楽しい時間をツアーの参加者の方々と過ごせて本当に楽しかったです。このツアーに参加して、成長できたと思いますし、なにより子供たちの明るさかわいさに癒されました。また機会があればぜひ参加したいと思っています。ありがとうございました。

## 堀井翼様からのご感想

以前から、ビル先生のメッセージを聞いたり本を読み、また家族でニューヨークの子供をサポートしていたことがあったので、自分の目でメトロの働きを見たいと思っていました。そして、今回日程が合い、参加させていただきました。

本やビル先生の話で知ってはいましたが、実際に子供たちが住むスラムに行き彼らの生活を見ると想像を超える状態でした。日本では考えられないような衛生状態の中、子供達が過ごしている姿を見ると心が痛みました。お墓のスラムでは、遺骨などが道端に捨てられていたり、以前スモーキーマウンテンがあった場所では子供達が学校に行かずに、ゴミの選別をする仕事をしていたりと目を疑うものばかりでした。

そんな中でも、メトロの働きはそこにいる子供達に希望を与えるものだと思います。ツアーの中で２日間メトロのスタッフの家庭訪問とサンデースクールに同行させていただきました。家庭訪問では通る場所通る場所で子供達をはじめ大人たちもスタッフの人たちに声をかけたりスタッフの人たちに抱きついたりと、それだけでもメトロの働きがいかにこの地域に浸透しているのか、信頼をされているのかがわかりました。このような関係性ができるのは、長年ビル先生をはじめメトロのスタッフがとてつもない努力と愛を持って彼らに仕えて来た証しであると思います。何回か、他の NGO などのボランティアに参加したことがありますが、なかなかこのような関係性を築ける NGO やボランティア団体は少ないと思います。

サンデースクールでも子供達がキラキラと輝いていて本当に楽しんでいました。楽しいゲームを始めストレートな聖書のメッセージやスキットで子供達に福音を伝えていました。いかに子供達を資金的にサポートし、ご飯をあげたとしても、福音を伝えなければ子供達の本当の救いにはならないと僕は思っています。そこのバランスがとても良くできていて、素晴らしい働きであるなと思いました。

ビラ配りのスタッフについて行く子どもたち

また、このツアーでとても良かったのは、そこで実際に働いているスタッフの人達とたくさん話せたことです。彼らがどのような姿勢で、メトロの働きに携わっているか、また、苦難や葛藤などを聞けたことは自分にとって参考になりました。しっかりとスタッフが信仰に立ち、キリストの愛を持って子供達に仕えている姿を見れたことはとても励みになりました。

自分も将来はこのような子供達のために何かできないかという思いがあり、メトロの働きを見て自分も将来このようなことがしたい！と思いました。今はまだ大学に通っており（すぐにでも研修したい！）、直接的には関わることはできませんが、何か自分にもできることを考え祈っていきたいです。

一緒に行ったツアーの参加者の人たちもとても良い人たちばかりで良い交わりの時を持つこともできました。

短い旅ではありましたが、実り多き旅となりました。飛行機など万代先生をはじめ三木さんなどが入念に準備してくださり、安心して４日過ごすことができました。本当にありがとうございました。

## ひばりが丘バイブルチャーチ 野田先生から

今回、野田勝利先生は、ご自分の教会の兄弟姉妹を連れて、9名でご参加くださいました。ひばりが丘バイブルチャーチからは、昨年と今年1名ずつ、合計2名の姉妹がインターンシップに行かれ、さらに今後も若者を送るご計画です。今回のツアーのご感想をCGNTVで語ってくださっていますので、その内容を、こちらに掲載させていただきます。

ひばりが丘バイブルチャーチの牧師、野田勝利です。今回は、４月５日から８日にかけて行われた、メトロ・ワールド・チャイルドのフィリピンツアーのレポートをさせていただきます。メトロ・ワールド・チャイルドは、ビル・ウィルソン先生がニューヨークで始められた世界最大級の教会学校の働きです。この働きは現在、アジア、東ヨーロッパ、アフリカ、インド、中南米と急速に拡大を続けており、毎週世界各地で開催されている教会学校には総数で１７万人以上の子どもたち

が集まっています。日本では、万代栄嗣先生が代表を務めておられるメトロ・ワールド・チャイルド・ジャパンが事務局として世界各国のメトロの働きを紹介し、また独自の里親制度によってニューヨーク、フィリピン、ケニアの子どもたちを支援しています。今回、万代先生が主催されたメトロ・フィリピンの体験ツアーには、日本各地から 19 名が参加しました。

４月６日金曜日、ツアー初日の午前中は、いくつかのグループに分かれて行動しました。里親として毎月子どもたちに支援をしておられる方は、支援している子どもたちに直接面会して交流を深めて、励ましていく感動的な時間を持たれたようです。私を含む他の方々は、翌日開催する道端教会学校のために、スラムでチラシを配り、子どもたちに声をかけていく活動をしました。私たちのチームは、マニラ市のイスラ・プティン・バト地区という海辺のスラム街に行き、タガログ語で「サイドウォーク！ ブーカス！(明日だよっ)」と叫びながら２時間ほどチラシを配って、訪問と宣伝活動を行いました。これは本当に衝撃的な体験でした。

まず驚いたのは、日本人の私が今まで見たこともないような貧しさと不潔さでした。住居は今にも壊れそうな小屋、大人も子供も半裸に近いような身なりで、家族が密集して生活をしていました。地面はどこもドブ水が流れて、ガラス破片などもそこら中に落ちているにもかかわらず、子どもたちの多くは裸足で、ケガをしたら大変なことになるのではないかなと思ってしまうような様子でした。

そして私たちを引率してくれたメトロのスタッフは、本当に献身的で、その情熱的な働きぶりには感動させられました。関係ができている家庭の中には、家の中でもどんどん入って行って、色々やり取りをしている様子でした。

さらにこのスタッフたちをサポートしている、ワーカーと呼ばれる子どもたちの存在も初めて知りました。メトロの教会学校でイエス様を信じた子どもたちの中で、忠実で献身的な思いを持った子どもたちが、ワーカーとして任命されるようです。そして訪問活動や、その教会学校当日には、スタッフとしてお手伝いをしてくれているのです。

午後からは、分かれていたグループと合流して、墓地に人々が住み着いていることで有名なノース・セメタリーという場所に行き、今回最初のメトロの道端教会学校に参加しました。

翌日４月７日の土曜日は、メトロの１週間で最も忙しく大切な日です。朝から２チームに分かれて７カ所で教会学校を行うのです。教会学校と言っても日本と違い、毎回 200 名か

ら 400 名ぐらいの子どもたちが集まる大規模なものです。熟練したスタッフたちと各国からやってきているインターン(研修生)たちが協力して会場設営をし、入場案内をし、プログラムを進め、そして最後には地元の教会の人たちと協力して子どもたちに炊き出しまでしていくのです。

彼らが１週間かけて準備し練習した教会学校のプログラムは見事に工夫されていて、エンターテインメントであふれて最初から最後までとっても楽しいものでした。でも、同時に常に福音に焦点が当てられていて、子どもたちがイエス様の十字架に心を向けていくように用意されていました。１時間 30 分のプログラムですが、楽しいのであっという間に思えました。その中で、子供たちがみるみる心を開いてイエス様を信じていくその姿を見た時に、私たちも感動で涙があふれてきました。熱心に一人の魂を追い求めていくスタッフの皆さんの情熱に触れ、参加した皆が信仰の原点に立ち返らされるような１日を過ごすことができました。

この道端教会学校のプログラムの素晴らしさは、５分ではとうてい語り尽くせませんので、詳しく知りたい方がおられましたら、直接私までご連絡をいただきたいと思います。

また、もしこのレポートをご覧になって興味を持たれた方がいらっしゃいましたら、メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパンのウェブサイトや Facebook ページにアクセスしてみていただきたいと思います。そして機会があれば、ぜひフィリピンやニューヨークの体験ツアーに参加していただきたいと思っています。今回のツアーを感謝します。

野田先生の出演されている CGNTV の動画は下記アドレス
https://www.youtube.com/watch?v=baAPu2fLD4o&feature=youtu.be
またはＱＲコードから

# 日本事務所からのお知らせとお願い

## 里親募集中です！

メトロ･ワールド･チャイルドでは、常時、新しい子どもの里親を募集しています。

多くの方々にご支援をいただいておりますが、メトロ･ワールド･チャイルドの働きは、急激に拡大を続けています。

メトロの教会学校に熱心に通ってくる子どもだけを対象としていますが、サポートの必要な子どもたちもどんどん増え続けています。

身近な方々で子ども支援に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、お知らせください。

ご検討いただくために必要な資料をお送りいたします。

子どものご支援金額は、ひと月 4,500 円です。

## 日本セミナー
## 開催希望者募集中！

ビル･ウィルソン師が６月末から７月９日の日程で来日予定です。７月６日(金)は、東京の日本橋公会堂でセミナー予定です。(時間未定)

教会、その他の会場での開催をご希望の場合は、日程を調整しなくてはなりませんので、できるだけ早くご連絡ください。

ブルックリンのスラム街で、無謀とも思える働きを始め、４０年足らずで世界規模の働きにまで成長できた信仰の秘訣は、全ての人々の人生の歩みに大きなヒントを与えます。

ぜひご自分の地域での開催の実現のために、ご協力ください。

## 現地報告会開催！

このレポートにも出てきたフィリピンのメトロスタッフ、ハンナさんが来日します。英語はもちろん、日本語も堪能ですので、日本語で現地の活動の状況や、子どもたちについてご説明をいたします。また、皆様からのご質問にも日本語でお答えします。

現場の生の声を聞くことのできる貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。下記の日程以外の日で、説明会開催のご希望がございましたら、すぐにお問い合わせください。

現在決まっている日程

関東地区のでの報告会
６月３日(日)、１０日(日)、１７日(日)すべて午前
７日(木)は午後７時　東京福音センター(銀座)

## 日本事務所よりごあいさつ！

新緑の美しい季節を迎えましたが、皆様お元気でしょうか？ 先月は､メトロフィリピンの視察ツアーに１９名で行くことができて感謝でした。

現地では、スタッフが変わらず元気に信仰を持って意欲的に活動を続けていました。現在は、日本からのインターンも３名いて、皆さんも直接日本語で現地の状況を聞くことができて良かったです。

現地スタッフのハンナ姉が来日しますので、１０名以上集まれば報告会を開催できます。皆さんのご支援が現場でどのように生かされているか、直接お聞きいただけますので、ぜひ早めにお問い合わせください。

皆様の尊いご支援に心から感謝し、主の豊かな祝福と恵みをお祈り申し上げます。

日本事務所代表　万代栄嗣(まんだい えいじ)


# メトロ･ワールド･チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061
東京都中央区銀座 4-5-1
教文館６階 ＴＦＣ内
電　話 03-3561-0174
ＦＡＸ 089-925-1501
メール metrojapan@mission.or.jp
URL http://metrojapan.seesaa.net/


すべてのお振り込みは、同封の郵便振替用紙をご利用いただくか、下記宛にお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 ００４１６１０
郵便局：記号番号 ０１６５０-3-４１６１０
口座名義はどちらも同じ
メトロ･ワールド･チャイルド･ジャパン